

◆◆◆台風◆◆◆

■「台風が来るよ！」

その言葉は小学生の私の心をワクワクさせました。明日は学校が休みになるかも。雨戸を閉めてふだんはしない片付けも進んで手伝って。停電になり、ろうそくの灯の中、風の音とラジオのニュースを聞きながら家族と過ごした夜のことを今でもなんとなく覚えています。



■「危ないから絶対に外に出てはいけません」

台風で休校が決まったある日、先生からきつく言われましたが私は友達と遊びに出ました。子どもの私たちからすれば、危ないからこそ面白い。ふだんから近づいてはいけない、と言われていた川まで友達数人と自転車で来てみました。川はゴウゴウとうねりをあげ、あり得ないところまで水がきています。みんな大はしゃぎ。ふとみると、岸に冷蔵庫くらいの広さの立派な発泡スチロールがあります。

「これにのって川をわたろうぜ」
一人の友達が提案しました。川幅ざっと50メートル。私はビビりましたが、出てきた言葉は「おお、いいねえ」。
「俺から行く」友達は発泡スチロールにのって向こう岸に向かって進み始めました。ほどなく発泡スチロールは目標の向こう岸でなく河口に向かってどんどん流されていきます。友達の姿はみるみる小さくなります。「ヤバい！」
私たちは自転車で流されていく友達を追いかけてきましたがすぐに見失ってしまいました。

■結局友達は河口近くまで流され、たまたま近くにいた漁師さんに助けられました。

けっこうな時間、流されたはずです。そのあいだ、あの発泡スチロールにバランスをとりながらのっていたのです。よく落ちなかった、命を落とさなかったものです。親と先生から私たちはこっぴどく叱られました。が、友達はそのことを武勇伝としてずっと自慢していました…。

■非常に強い台風11号が近づいています。

今の状況をふまえると福岡、糸島には6日火曜日に最接近しそう。休校、という判断が出ることもありそうです。今後の状況をみながら備えていきますが、子どもたちが小学生の私のような行動を絶対にしないよう、先に書いた私の台風の思い出は子どもたちには話さないでおきます。

